

## 2007年度 国際交流基金賞 国際交流奨励賞

ジャパンファウンデーションは、学術、芸術、日本語そのほかの文化活動を通じて、日本に対する海外の理解、或いは日本人の対外理解を深め、国際相互理解・国際友好親善を促進し、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人・団体に「国際交流基金賞」(副賞500万円)を授賞し、国際交流活動の顕彰を行っています。また、

顕著な業績をあげられ、今後ますます活躍が期待される個人・団体に「文化芸術」「日本語」「日本研究」3分野の「国際交流奨励賞」(副賞200万円)を授与しました。

※2006年度までは「日本語教育賞」としておりましたが、2007年度は日本語教育に貢献されている方に加え、広く日本語を使って活躍されている方を対象に加え「日本語賞」とすることにしました。

### 国際交流基金賞



#### ロイヤル・タイラー (Royall TYLER) 【オーストラリア】

(元オーストラリア国立大学アジア研究学部日本センター所長・教授)

長年にわたる日本文学研究・指導、そして英語翻訳による能の紹介や、『源氏物語』の原文に忠実でかつ分かりやすく、文学的にも優れた翻訳等、海外における日本文学・日本文化に対する理解促進に対する貢献を顕彰し、国際交流基金賞が授与されました。

### 国際交流奨励賞



#### 文化芸術交流賞

#### 北川フラム (KITAGAWA Fram) 【日本】

(アートディレクター、アートフロントギャラリー主宰)

数々の先駆的な展覧会やアートプロジェクトを成功させたほか、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」の総合ディレクターとして、海外のアーティストと地域住民との協働を通して、現代アートの力で継続的な地域振興を行った功績に対し国際交流奨励賞・文化芸術交流賞が授与されました。



#### 日本語賞

#### リービ英雄 (LEVY Hideo) 【米国】

(小説家、法政大学教授)

「万葉集」の優れた英訳により、日本文学を海外に紹介するほか、日本語により多数の小説、評論等の作品を著し、日本語の可能性を広げるとともに異文化間の理解を促進している功績をたたえ、国際交流奨励賞・日本語賞が授与されました。

写真提供：朝日新聞社



#### 日本研究賞

#### アイシエ・セルチュク・エセンベル (Ayçe Selçuk ESENBEL) 【トルコ】

(ボスポラス大学教授、日本研究学会会長)

日本研究学会の活動を通じたトルコの日本研究者の組織化や、後進の育成に尽力し、トルコにおける日本研究およびトルコ・日本間の学術・知的交流の推進に貢献してきた功績をたたえ、国際交流奨励賞・日本研究賞が授与されました。

※受賞記念講演会を開催しました。

タイラー教授講演会「源氏物語とThe Tale of Genji」 2007年10月5日 東京大学本郷キャンパス(東京大学文学部国文学研究室・現代文芸論研究室と共催)(ウェブサイト上に講演内容を掲載しています)

リービ英雄氏講演会「日本語の人生」 2007年11月17日 ジャパンファウンデーション国際会議場(JFサポーターズクラブイベント)

エセンベル教授講演会「世界史から見た日本とトルコの関係」 2007年10月5日 立命館大学衣笠キャンパス(立命館大学国際関係学部と共催)